

ウクライナに関する G7 財務大臣声明（仮訳）

我々、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、及びアメリカ合衆国の財務大臣、及び欧州委員会の経済・金融担当委員は、ウクライナ政府が、改定された予算案と経済改革の包括的パッケージを議会に提出するため、迅速かつ断固たる行動をとったことを歓迎する。

この法的措置は、IMF とウクライナ政府が 2 月 12 日に達した原則的な合意に沿って、野心的な改革アジェンダを実施するウクライナの強固な決意を明確に示す。この法的措置は、IMF の 4 年間の拡大信用供与措置により下支えされる新たな経済改革プログラムに関する事前行動の実施に向けた大きな進展である。

G7 は、近日中に予定されている IMF 理事会による、ウクライナのプログラムに対する前向きな検討を期待する。プログラムは、進行中の野心的な経済改革プロセスにおいて、迅速にウクライナを支援するため、前倒しされた追加的融資を提供する。このプログラムは G7 及び他のパートナーによる十分な資金支援によっても支えられ、開発金融機関による支援を触媒する。

我々の見解では、ウクライナの経済改革アジェンダは、ウクライナにおける迅速な経済安定化、及び中期的に強固な成長を回復しウクライナ国民の生活水準を改善するための一連の大胆な政策改革を支えるための全ての必要な要素を含む。

我々は、ウクライナが野心的な改革アジェンダの実施に成功することを確信している。改革プログラムとその迅速な実施は、同時に、金融市場とウクライナ通貨に対する信頼を高める。この文脈において、我々は、2015 年 3 月 3 日にウクライナ当局によって発表された金融政策行動を、外国為替市場における圧力の減少に向けた有効なステップとして歓迎する。

国際社会は、この歴史的に重要な局面において改革を実施するウクライナを支える用意がある。